

【研究課題名】

国際連携建築都市デザインスタジオ AIAC などを通じた大学共同デザイン教育

【研究代表者】

大学院政策・メディア研究科 池田靖史

【研究の背景】

建築や都市などにおいてサステナブルな環境で地域の魅力を高めるための具体的な方策が望まれている事が全世界的な課題であることは言うまでもない。そのためには地球環境的な幅広い視点が必要とされ、従来の専門分野的な建築・都市デザイン教育の枠を大きく超えた国際的な人材育成が可能な教育連携が必要である。AIAC(L'Atelier International de l'Architecture Construite)は15年以上も毎年開催されている国際的な大学間連携による建築・都市環境のデザイン演習の共同プログラムである。世界中の有名大学で学ぶ建築家の卵たちが毎年1つの地域を選んで都市空間とは何かをデザイン提案で競いながら学ぶ試みで、SFC環境デザインガバナンスプログラムでは2013年度から参加した。

AIACの特徴は毎年、調査のためのワークショップに参加教員と学生が世界中から集い、特定の地域の課題と可能性を共有した数ヶ月後に、具体的な環境デザイン提案の発表のために、再度ワークショップを開催して意見交換を幅広く行ったうえ、優秀作品表彰までを行う事にある。2013年度のAIACは初参加となった慶應大学が東京の日本橋地区を対象にAIACのプログラムを組織し、ワークショップには敷地の調査と学術的国際交流のために4月に世界中から100名もの学生を迎え、その後各校で設計された提案をパリのユネスコ本部に持ち寄り9月にはその中から国際的な審査員によって優秀賞・最優秀賞を選ぶデザインコンクールがパリのユネスコ本部で開催されている。

【研究の目的】

環境デザインに関する国際的な共同に基づく本研究活動は3つの異なるレベルでの成果を生む事が期待されている。1つ目はこの演習が大変競争的で、かつ提案のレベルが高い事から、国際的な視点を持つ環境デザイン学生の意欲を刺激し相互作用的な教育効果を得る事、2つ目にまれに見る国際的に大きな共同研究組織によって行われる事から、環境デザインの技術やその教育方法などについて、相互の比較や影響などによる学術的な発展が期待できる事。3つ目に提案された作品そのものが、通常の方法では得難いほど豊かな情報量とフレッシュな視点からの可能性の提示がなされ、実際の地域の開発自体に役立てる事ができる点である。

【活動成果報告】

(1) 現地調査ワークショップ

期間 2014年 4月28日～5月2日

コロンビア ボゴダ市 ロスアンデス大学

慶應大学参加者 教員2名 政策メディア研究科修士課程学生5名

本年度の AIAC は南米コロンビアの首都ボゴダ旧市街地を対象にしたスペイン統治時代から400年に及ぶ旧市街の魅力と持続可能性を考え、大学による地域再生と地域交流施設の提案に取り組んだ。調査のためのワークショップに参加教員と学生が世界中から集い、フィールドワークをもとに特定の地域の課題と可能性を共有し持ち帰った。コロンビアは他の南米の多くの国家と同じように貧富の差と犯罪率の高さなどに苦しんで来たが、近年は交通政策などの都市計画による都市環境改善が経済的発展に大きな効果をあげ、結果的に犯罪抑制にも効果をあげる事を実践的に照明し、世界的な注目を集めている。そのコロンビアにおいて、スペイン統治時代からの深い歴史を持つ最も古い市街地ラ・カンデラリアは暴動などの治安の悪化でほとんどの住民を失ったスペイン植民地時代の街並を、新しい大学街として再生する試みを実践して来たロス・アンデス大学は、この場所を本拠地にこれまでもいくつかの建物を再生しながらキャンパスの拡大をして来た事をふまえ、学生に安全な居住環境を提供しながら地域の活性化を目的にする施設についての提案を学生求める内容のワークショップを開催し、ここに慶應大学の他に、中国の北京精華大学、フランスのパリ・ラビレット国立建築大学、イタリアのベネチア建築大学、韓国からは慶尚大学と漢陽大学、さらにペルー国立大学などの64名の学生が参加した。





ロスアンデス大学でのワークショップの様子

(2) 提案の作成

その後政策メディア研究科修士課程の「応用環境デザイン(都市と環境)」の授業として具体的な環境デザイン提案作成をおこなった

(3) デザイン提案講評会の開催と参加

期間 2014年 9月17日～9月22日

イタリア ベネチア建築大学

慶應大学参加者 教員2名 政策メディア研究科修士課程学生5名

提案の発表と意見交換のためにイタリアのベネチアにおいて国際建築ビエンナーレに合わせて学生デザインコンクールの開催に参加した。結果として最優秀は逃したが5名の佳作の一つとして慶応義塾大学の柳田舞さんの提案が選ばれた



ベネチア建築大学での作品発表の様子